

## 中国の部活動

吉村千陽

12月に入り中国にきて三ヶ月が過ぎた。最近の気温はずっと零下で、朝布団から出るのがとても大変だ。今回のレポートでは、自分が所属している部活動について書きたいと思う。

中国での生活、学校の授業に慣れ、こっちの学生たちと交流できる場はないか探しているとき、ちょうど新入生の部活勧誘の期間で学校内のメインの通りに各部活のブースができていた。いい機会だったので日本で学生時代にずっと所属していたダンス部があるか探してみることにした。ダンス部は種類わけがされており、現代舞団、国際舞団、民舞団の三つがあった。それぞれのダンス部の方から違いの説明を受けて、私はストリートダンスを主とする現代舞団に入部することにした。入部するにはダンスの試験があるのだが、留学生ということで今までのダンスの動画を部員に見せて合格になった。

現代舞団の活動日は毎週金曜日と日曜日の16時から21時までで、大きな発表会の前には毎日14時から22時まで練習しているそうだ。11月の第一週目の金曜日に初めて行くと、部長と副部長と各ジャンルのリーダーに呼ばれ、毎週金曜日にダンスの先生をしてほしいと言われた。はじめは中国語が全くと言っていいほどできない私が先生なんてできるのかと思い悩んだが、すぐに承諾した。その日から毎週金曜日中国の学生たちにダンスの基礎を教えている。彼らは英語が全く通じないので、部活前に教えるときのイメージトレーニングをしながら、その時に使うであろう中国語の文章をあらかじめ考えておき何度も声に出して練習している。しかし、現実にはイメージトレーニング通りの流れにはそうそうならない。自分の言いたいことをうまく言葉にできず、相手の言いたいことを理解してあげることができないことが多々ある。その度に悔しくて落ち込むこともあるが、部員たちが私の伝えたいことを一生懸命理解してくれようとしたり、休憩中に話しかけてくれたり、私が教えたことを練習してくれたら、飲み物やトウモロコシを買ってきてくれたり、部活が終わってから「楽しかったよ!」「ありがとう」と連絡をくれたりと、とても親切で、なにより外国から来た私を部の仲間として温かく迎えてくれたことがとてもうれしく感じた。これからも現代舞団のみんなとたくさんの思い出を共有していきたいと思う。



部活の休憩中



部活終わりに部員のみんなとご飯